

笑顔および外見による魅力変化

川 名 好 裕^{*1}

要 旨： 首都圏の大学生が授業の一部の時間を使って実験調査アンケートに参加した。分析に適した有効データ数は、男性106名、女性139名であった。アンケート調査用紙に、笑顔の有るもの、無いものの写真40種類の女性の写真のうちの1つが判定刺激写真として印刷されていた。この顔写真をみて、その外見的魅力や内面的魅力についての評定と、その写真人物との関係希望の度合い（友人希望、恋人希望）を回答させた。因子分析の結果、外見的魅力は、美的魅力、健康的魅力の2つに下位分類され、内面的魅力は、对人的魅力、社会的魅力、の2つに下位分類された。写真刺激の笑顔の有無、アンケート回答者の性別の他に、写真刺激の美しさの判定から顔の美醜を加え、三元配置の多変量分散分析を行った。多変量にあたる従属変数は、美的魅力、健康的魅力、对人的魅力、社会的魅力の4つの魅力と、友人希望と恋人希望の2つである。笑顔の有無は、美的魅力には有意な影響力をもっていなかったが、笑顔のある顔の方が笑顔の無い顔より健康的魅力があるという結果であった。また、笑顔のある方が笑顔のない方より、有意に对人的魅力があると判断されていた ($p < .01$)。逆に、笑顔の無い方がある方より社会的魅力があると判断されていた。しかし、笑顔の有無は友人希望や恋人希望には有意な影響力をもっていなかった。美醜判定の影響力については、醜顔の方が美顔より健康的魅力ありという結果であった。美醜判定の関係希望への影響力は、笑顔の有無の影響力より大きく、醜顔より美顔の方を圧倒的に友達希望においても恋人希望においても有意に高く評定していた。

キーワード：笑顔、美醜、对人魅力、友達希望、恋人希望

* 1 立正大学心理学部

序 論

外見から推定される魅力研究

外見的魅力が最も直接的にその効力を大きく発揮する対人相互作用場面は、Buss (1999) が指摘するように、親密な関係性を求める異性との対人関係である。外見的魅力の高い女性や男性はより好ましいパートナーとして評価される可能性があることは、誰もが経験的に感じている。異性関係における外見的魅力の重要性は、心理学的研究の様々なアプローチから支持されてきた。実験研究においては、Walster, Aronson, Abrahams, & Rottmann (1966) が大学の新生を対象に、初対面の異性の印象評定に影響を及ぼす変数を検討し、外見的魅力がダンスパーティのパートナーに対する好印象の度合と高い正の相関を示すことを明らかにしている。

様々なアプローチを用いた実証研究や進化心理学的考察が異性関係における外見的魅力の重要性を支持する一方で、この見解に対する否定的な証拠も少なからず存在している。例えば Powers (1971) は、1939年から1967年の間に行われた異性の対人魅力に関する古典的な六つの研究についてメタ分析を行った結果、分析対象となった14の魅力特性のうち、“良い外見”の相対的重要度は男性回答者で12番目、女性回答者で13番目という極めて低い位置づけとなっていたことを報告している。また、Li, Bailey, Kenrick, & Linsenmeier (2002) は、Buss (1989) が行った大規模調査について言及し、確かに文化圏に関わらず外見的魅力の重要性評価は一貫しているものの、その相対的順位は他の魅力特性と比較して必ずしも高くないことを指摘している。

こうした見かけ上の矛盾を解消するため、何人かの研究者は、異性関係における外見的魅力の要因は、交際期間や親密度等の他の要因と密接に相互作用する可能性を考慮する必要性があると主張している (Li, et al., 2002)。

外見的魅力の重要性が異性との関係性 (例えば、恋愛対象や結婚対象など) や持続期間等、他の要因と相互作用するという議論を考慮し、川名 (2011a) は、性的関係、恋愛関係、結婚関係という3種の異なる異性関係において、魅力特性の相対的重要度を包括的に記述する試みを行なっている。調査は、性的関係、恋愛関係、結婚関係を構築・維持する際に、特定の魅力項目 (例えば、“経済力がある”、“身体的魅力がある”等) をどの程度重視するかについて、5件法で評定するよう回答者に求めたものであった。魅力項目については、外見的要因に加え、社会的地位に関する項目や、性格あるいは性の相性に関する項目まで多岐に渡った。因子分析の結果、異性に求める魅力の因子構造は、円満な異性関係を構築・維持するための豊かな精神性を表す“精神的魅力”、異性関係を物質的に豊かにする経済性と実利性を表す“実利的魅力”、美しい外見や性の相性を表す“快楽的魅力”の3因子から構成されることが明らかにされた。そして、性的関係から、恋愛関係、結婚関係へと、男女相互のコミットメント量が増加するにつれて、精神的魅力や実利的魅力の相対的重要度は増加する一方で、対照的に外見的魅力に相当する快楽的魅力の重要性は減少する傾向にあることを明らかにした。恋愛や結婚といった通常の異性関係において、外見的魅力の重要性が著しく低く評価されており、Walster et al. (1966) に代表される実験研究とは矛盾する点も含んでいた。

川名 (2011a) のように魅力評価対象を特定しない抽象的な質問紙法による研究手法は、魅力の評定時に想起する異性を参加者が各々自由に想定するため、いくつかの問題点も含んでいるようである

(Strohmetz, 2008)。それに対して、過去の研究においても Walster et al. (1966) に代表される実験研究では、ダンスパーティで出会った相手という実物の人物の場合や、松井・山本 (1985) の調査研究では、評価対象となる異性が写真刺激として提示されている。

そこで、川名 (2011b) は、魅力を評定する異性を特定化するために、20種類のさまざまなタイプの男性の写真を刺激として、さまざまな外見のおよび内面的魅力項目への評定を女性にさせ、関係希望 (友人、恋人、性的相手、結婚相手) の度合いを評定させた。その結果、外見的魅力の代表となる美的魅力が、女性においても、友人、性的相手、恋人という関係において最も重視される魅力として位置づけられていることが明らかにされた。川名 (2011a) のように言葉で異性の魅力を表明する場合に美的魅力の重要性が表現されないのは、他者や社会からの評価懸念や公的自己意識により、あからさまな言葉による異性選択の基準が抑制されているのだと解釈された。しかし、結婚相手にはついても美的魅力の重要性は下がり、そのかわり、仕事や家庭などへの真剣な取り組みを約束するような、誠実さなどの魅力が最重要魅力として位置づけられていた。

美的魅力や対人的魅力を実験的に操作した川名 (2012) の研究では、一人の女性人物刺激の化粧の有無、笑顔の有無による魅力変化と関係希望変化を調べた。その結果、化粧の有無による美的魅力の変化は大きく、友達希望、恋人希望という関係性希望の度合いも美的魅力の変化に応じて大きく影響していることが分かった。笑顔によって対人的魅力が増加することは分かったが、その影響力は男女で異なる様態を示した。すなわち、同性である女性の場合は、友達希望において笑顔などによる対人的魅力は、美的魅力と同等に影響力をもっていた。他方、異性である男性の場合は、友達希望には対人的魅力は影響力がなく、恋人関係希望にいたって美的魅力の半分くらいの大きさで影響を及ぼしていた。この研究で一つの問題となった結果は、同じ化粧をしている条件の顔において、笑顔有りより笑顔無しの方が美的魅力において有意に高いと判断されていた結果である。笑顔が美しさを増すのではないかという見解もあり、笑顔が美的魅力に及ぼす影響について、より多様な顔において、その効果を調べる必要が出てきた。

また、このひとりの女性の化粧有無、笑顔有無という条件で行われたワンサンプル実験刺激の問題があり、結果の一般的な外的妥当性に問題があった。

研究目的：

本研究は、川名 (2012) で問題とされた実験刺激の一般性を確保するために、さまざまな人物の顔の写真を集めて笑顔の有無と美的魅力などの他の魅力の変化に伴い、関係希望にどのような影響を及ぼすかを検証するものである。特に、笑顔の有無による影響が美的魅力など他の魅力認知にどのような影響を及ぼすかを検証することを研究目的とする。化粧による美的魅力は独立変数として操作していないが、さまざまな魅力の異なる人物の写真を収集することによって、事後的な美的魅力の判断を用いることによって美的判断によるグループ分けが可能となる。そこで美的魅力の関係性希望への一般的影響力についても検討できる。

作業仮説：

実験調査の事前の作業仮説および問題点として以下のようなものを設定した。

1. 笑顔により、対人的魅力が増加するであろう。
2. 笑顔は美的魅力にどのような影響を及ぼすのか？

3. 対人的魅力の増加は、友達関係希望を増加させるであろう。
4. 対人的魅力の影響力は同性と異性では異なるであろう。
5. 対人的魅力は同性関係において友達希望に大きな影響力をもつであろう。
6. 美的魅力は、同性関係より異性関係では関係希望に大きな影響力をもつであろう。

方 法

被調査者：

首都圏の大学1, 2年生の男女を対象に授業の一部の時間を使って集合形式でのアンケート実験調査を実施した。データ分析に使用した有効回答者数は、男子106人、女子139人、計245人であった。

実験計画：

刺激提示写真：

魅力の評定のために使われた写真は、身近な女子学生などの知り合いなどに依頼して本人の肩から上のバストアップ写真を撮らせてもらった。

同じ女性の笑顔条件の写真と笑顔無条件の写真1組2枚である。なるべく多くのバラエティに富んだ写真を集めて、その中から20人を選定した。笑みの有無以外は、服装や照明、背景などは一定に統制されたものを使用した。一人の人に笑顔条件と笑顔無条件の写真の2枚一組があるので、写真の数は、20(人) × 2(条件) = 40種類(すべて女性の写真)である。この40種類の写真の1つをアンケート調査用紙の左上に添付して、その写真から推定されるさまざまな魅力、および関係希望を評定させた。

アンケート質問項目の構成：

質問項目は、全部で61問からなっていたが、その構成は以下のようなものであった。(表1. アンケート調査用紙参照)

補助項目の質問 (問1～問6)

家族の男女比、男性および女性の顔で好きなタイプの質問、同性および異性の友人の数、恋人としての同性愛、異性愛傾向など。

外見的魅力評定の質問 (問7～問27)

写真女性の外見的魅力は、21の質問から構成されていた。

美しい、きれいな、洗練された、おしゃれななどの「大人的魅力」項目、エロチック、肉感的などの「性的魅力」、子供らしい、かわいいなどの「若さ」と、元気な、健康的などの「健康的魅力」などのカテゴリーに属する外見の魅力項目である。

内面的魅力評定の質問 (問28～問57)

内面的魅力を評定する項目は、人の性格のBig Five項目から選んだものを使用した。すなわち、真面目さ、勤勉さなどの「誠実性」、親切な、親しみのあるなどの「調和性」、悩みがちなど「情緒不安定性」、明るい、社交的ななどの「外向性」、想像力に富んだ、独創的などの「精神解放性」の5つのカテゴリーに属する性格特性による内面的魅力評定の質問群である。

関係性希望の質問 (問58～問61)

最後に、その写真の女性を友達、性的相手、恋人、結婚相手にしたい度合いを評定させた。(女性被験者には性的相手、結婚相手の質問は免除されている。)

魅力の評定および、関係希望の評定とも、「全く当てはまらない」（1点）から「非常によく当てはまる」（7点）の7件法で回答させた。

結果と考察

外見的魅力の因子分析

外見的魅力項目は、主因子法バリマックス直交回転による因子分析をした。各変数の因子負荷量を表2.に示す。第1因子は、美しい、綺麗な、艶っぽい、上品な、などの美的魅力とエロチック、色っぽいなどの性的魅力が混在しているが、美的魅力が主体なので「美的魅力」と名付けた。第2因子は、健康的な、元気な、はつらつとした、顔色がいいなどという健康的側面を示す項目と、若々しい、子供らしいなどの若さを示す項目に因子負荷量が高かったので、若さと健康の魅力を示すもので、「健康的魅力」と名付けた。以上、外見的魅力は、美的魅力と健康的魅力の2つに下位分類されるということになる。

内面的魅力の因子分析

内面的魅力項目は、主因子法バリマックス直交回転の因子分析を行った結果を表3.に示す。第1因子は、良心的な、協力的な、親切的な、素直ななどの調和性を示す項目群と、明るい、陽気な、話好きなどの外向性を示す項目から総合的に「対人的魅力」と名付けた。第2因子は、神経質な、悩みがち、心配性、悲観的などの神経質性の他に、勤勉、几帳面、真面目、計画性などの誠実性、勤勉性もあるので総合的に「社会的魅力」と名付けた。以上内面的な魅力は、「対人的魅力」、「社会的魅力」の2つに下位分類される。

三元配置多変量分散分析

本実験調査には、判定者の性別、写真の笑顔有無条件の2つの独立変数があるが、化粧などの美的魅力は操作していないが、20種類の女性の顔は魅力的にもさまざまであるので、外見的魅力項目の因子分析から出てきた「美的魅力」因子の因子得点によって「美顔」と「醜顔」に2分した。すなわち、因子得点がマイナスの値のものを「醜顔」、プラスの値のものを「美顔」とした。この美的判断を第3の比較変数とすることによって、3つの要因変数を想定することができる。すなわち、性別、笑顔有無、美的判断の3元配置で分散分析することとした。従属変数としては、外見的魅力2つ（美的魅力、健康的魅力）と内面的魅力2つ（対人的魅力、社会的魅力）と、関係性希望2つ（友達希望、恋人希望）とを設定した。従属変数は、全部で6個ということになる。かくして、3つの独立変数と6つの従属変数とで、三元配置多変量分散分析を実施した。表4に三元配置多変量分散分析表を示す。また、表5に男性データの多重比較法（シェフェ法）による平均値の差の検定表を示す。表6に女性データの多重比較法（シェフェ法）による平均値の差の検定表を示す。また、表7に男女比較と交互作用効果の結果を示す。

男女差が魅力、関係性希望に及ぼす影響：

外見的魅力への効果：

今回の写真刺激は、すべて女性の顔である。異性である男性の判断と同性である女性の判断が大きく

異なることは予想されていた。表7の男女比較と交互作用効果の結果を参照していただきたい。

男性と女性とでは美的魅力の認知に関して有意差がある。女性は男性より女性の写真の美的魅力が高く判断しているようである。しかし、美的魅力については、性別×美的判断の交互作用効果が有意であった(表4参照)。そこでさらに、男女別に美的判断の効果を示したのが表7の2. 美的魅力の性別×美的判断の結果である。その結果、美顔に関しては男女で美的魅力の認知に関して有意差はなかったが、醜顔に関しては、男性の美的魅力の評定値が女性より有意に低いことが判明した。このことは、美的魅力の認知に関しては、男性の方が女性より点が辛いということ、特に醜顔への男性の非難は女性より極端であることを示していると考えられる。

健康的魅力にも男女で有意差がある。男性の方が女性よりも刺激人物を健康的と評価している。

内面的魅力への効果：

社会的魅力に関しても男女差が認められた。男性より女性の方が写真の女性をより社会的魅力があると判断していた($p < .01$)。对人的魅力の認知に関して男女差は認められなかった。

関係性希望への効果：

友達希望の度合いにおいては、男女差の単純主効果はなかったが、友達希望は、性別×笑有無×美的判断の交互作用効果が有意である(表4)。表7の4. 従属変数：友達希望の美的判断×笑有無×性別の交互作用効果の結果を見ていただきたい。男性の場合は、美的で笑みがある顔を最も好意的に判断しているという結果である。女性の場合は美的で笑みの無い顔を最も好意的に判断しているという複雑な結果である。

恋人希望の度合いにおいては、性別×美的判断の交互作用効果が有意であった(表4)。表7の3. 従属変数：関係希望の性別×美的判断の交互作用効果の結果を見ると、男性の場合、美顔に対する恋人希望評価のみがポジティブであることが分かる。友達希望に関しても美顔であれば友達希望評価は高い。男性の美醜判断優位の関係希望の様相が明らかである。

笑顔の有無が魅力、関係性希望に及ぼす影響：

外見的魅力への効果：

次に本実験調査での主要な独立変数である「笑顔の有無」の効果を検討してみよう。表5および表6を参照して分かるように、笑顔の有無は、男女とも美的魅力には全然影響力をもっていない。一般的に笑みが美的魅力を増すとか減ずるとかいうことは言えないという結論である。ただ、笑顔のある顔の方が笑顔の無い顔より健康的魅力があるという結果である。

内面的魅力への効果：

笑顔の有無は、内面的魅力に影響を及ぼしているようである。おおそ男女とも、笑顔のある方が笑顔のない方より、对人的魅力があると判断している。女性では、顔の美醜にかかわらずその傾向が高いが、男性では、醜顔のみに笑みの有無の効果の違いが有意である。

逆に、笑顔の無い方がある方より社会的魅力があると判断されている(男女とも $p < .01$)。言い換えれば、笑顔があると对人的魅力があり、笑顔がないと社会的魅力があるというふうに、对人的魅力と社会的魅力とは笑顔の有無で相補的に認知される傾向があるということであろうか。

関係性への笑顔の効果：

笑顔の効果の関係性希望への効果を見てみよう。女性と男性では少し様相が異なるようである。女性では、醜顔のみで笑顔の友達希望への傾向がある（表6）。それに対して男性では、美顔でのみ笑顔が友達希望に傾向がある結果である（表5）。男性が美顔に、女性が醜顔において笑顔にポジティブな効果をもっていることは興味深い結果である。

しかし、恋人希望では、笑顔の効果は全くないという結果であった。表7の4に男女別に笑み有無と美的判断の交互作用の効果を示すが、男性では美的魅力の影響力は大きい、笑みの有無の効果が有意な交互作用効果を生むほどではないという結果である。

美的判断が魅力、関係性希望に及ぼす影響：

外見的な魅力への効果：

比較変数としての美的判断は、当然ながら男女とも美的魅力因子に強い影響力をもっている。しかし、男女とも、美的判断と健康的魅力の関連は認められない。

内面的魅力への効果：

次に美的判断が内面的魅力に及ぼす影響を見てみよう。表5の2の男性、表6の2の女性の結果とも、対人的魅力への効果を見ると、美顔の方が醜顔より対人的魅力が有意に高い（ $p < 0.01$ ）。このことは、外見的な美しさから対人的魅力が高いことを推定させるというハロー効果（光背効果）と解釈することもできる。

関係希望への効果：

美的判断の効果は、関係希望においても有意な影響力をもっていた。

異性である男性の場合、醜顔より美顔の方が圧倒的に友達希望においても恋人希望においても有意に高い評価をしている（ $p < 0.01$ ）。同性である女性の場合においても、美的判断の認知は、友達希望および恋人希望を促進させるという結果である（ $p < 0.05$ ）。このことは、友達希望、恋人希望において異性である男性は、美的判断を重視するが、同性の女性においても美的判断は、友達希望において暗黙の裡に重視されているという結果である。この結果は、川名（2011b）の化粧と笑顔の研究と一致している。そこでは、女性は友達希望においても対人的魅力だけでなく美的魅力や性的魅力を重視していた。

関係希望で重視される魅力の種類（クラスター分析）

今回使われた女性の写真は、20（人）×2（笑み有無）=40種類であった。様々な魅力が異なる刺激を使用している。友達希望や恋人希望においてどのような魅力が重視されるかは、関係希望と魅力評定との間で重回帰分析をする他に、クラスター分析をしても、その関係を理解することができる。異性である男性と同性である女性とは、関係希望における重視する魅力の重みづけが異なるようであるから、男性データと女性データとを別々に階層的クラスター分析のウォード法を使って分析した。

クラスターの数については有意な弁別可能性を考慮して、男性データでは、クラスター数を5つ、女性データではクラスター数を4つとした。

男性が女性に求めるタイプ

表8が男性データのクラスター分析結果である。クラスター1は、女友達希望、恋人希望ともに6点

平均位であるから非常に魅力的な女性と認知しているようである。美的魅力も高く、対人的魅力もある程度高いことが見て取れる。クラスター2は、友達希望タイプ(1)と名付けたが、美的魅力もややあり、性的魅力は他に比べて最も高かった。友達希望はあるが恋人希望は特にない値(3.9)である。クラスター3は、友達希望タイプ(2)と名付けた。健康的魅力と対人的魅力があるが、美的魅力は低いタイプである。その結果、友達希望は高いが(4.8)、恋人希望は(1.7)と極めて低い。クラスター4は、やや友達にはしたくないタイプであるが、その原因は社会的魅力の高さにある(0.8)ようで、男性に劣等感を与えるのかもしれない。クラスター5は、友達にも恋人にもしたくないタイプで、その原因は美的魅力(-2.3)も対人的魅力(-2.3)も健康的魅力(-0.9)も極めて低いことにあるようである。

女性の女友達のタイプ

女性データについては、4つのクラスターに分類した(表9)。クラスター1は、友達希望が高く(4.8)、恋人希望も否定しえないような相手(4.0)である。今回、男女の大部分において異性愛傾向が高かったので、女性同士の間で恋人希望の評点は平均的に低い(1.0~1.2)が、このクラスター1の恋人希望評点は4点でどちらとも言えないという中間点付近の値である。

そういう意味で女性同士の同性愛的関係を示唆するような相手と見ることもできるかもしれない。そうした相手の魅力で重視されているのは美的魅力(0.5)で他のタイプに比べて最も高い平均因子得点である。対人的魅力をはじめ他の魅力の必要性はほとんど考慮されていない。クラスター2は、友達希望タイプと名付けた。友達希望評点は、(5.3)と最も高い。この相手には恋人希望評点平均は(1.2)と極めて低いので恋人関係は拒否されている。普通の女同士の友人関係希望を意味している。そこで重視される魅力は美的魅力(0.4)、対人的魅力(0.4)、健康的魅力(0.1)などである。クラスター3は、友達に望まないタイプ(1)と名付けた。健康的魅力(-0.4)、対人的魅力(-0.2)、社会的魅力(-0.1)といった魅力が低いことが原因のようだ。

最後のクラスター4は、友達に望まないタイプ(2)と名付けたが、すべての魅力がなく社会的魅力だけがあるタイプである。

男女とも社会的魅力(真面目さや有能性)は、対人関係では望まれない魅力のようである。

まとめ

本研究での知見をまとめると以下のようになる。

1. 笑みの有無は、美的魅力に組織的な影響を与えるとは言えない。
2. 笑みは、健康的魅力と対人的魅力を増す。
3. 笑みが無いことは、社会的魅力(真面目さや有能性)があると推定されやすい。
4. 美的魅力があると対人的魅力もあるように認知されやすい(ハロー効果)。
5. 友達希望や恋人希望において、美的魅力の促進的影響は対人的魅力より大きい。
6. 笑みの効果は、対人的魅力を増すが、友達希望や恋人希望には限定的な効果に限られる。
7. 笑みは、男性が女性を友達にするときには効果はあるが、恋人にするには単独では効果がない。
8. 美的魅力と対人的魅力の両方があると、恋人希望には有利である。
9. 美的魅力ないし対人的魅力のどちらかがあると友達希望には有利である。

10. 美的魅力と対人的魅力の両方がないと、友達希望、恋人希望には圧倒的に不利である。

以 上

引用文献

- Buss, D. M. (1999). *Evolutionary Psychology*. Needham Heights, MA: Allyn & Bacon.
- Buss, D. M. (1989). Sex differences in human mate preferences: Evolutionary hypotheses tested in 37 cultures. *Behavioral and Brain Sciences*, 12, 1-49.
- Cunningham, M. R., Roberts, A. R., Barbee, A. P., & Wu, C. (1995). "Their ideas of beauty are, on the whole, the same as ours": Consistency and variability in the cross-cultural perception of female. *Journal of Personality and Social Psychology*, 68, 261-279.
- Dion, K., Berscheid, E., Walster, E. (1972). What is beautiful is good. *Journal of Personality and Social Psychology*, 24, 285-290.
- Eagly, A. H., Ashmore, R. D., Makhijani, M. G., & Longo, L. C. (1991). What is beautiful is good, but...: A meta-analytic review of research on the physical attractiveness stereotype. *Psychological Bulletin*, 110, 109-128.
- Feingold, A. (1992). Good-looking people are not what we think. *Psychological Bulletin*, 111, 304-341.
- Hamermesh, D. S., & Parker, A. (2005). Beauty in the classroom: Instructors' pulchritude and putative pedagogical productivity. *Economics of Education Review*, 4, 1174-1194.
- 川名好裕 (2011a) 関係性の違いによる異性の対人魅力 立正大学心理学研究年報, 改題2号, 1 - 8.
- 川名好裕 (2011b) 外見から推定される男性の魅力 立正大学心理学研究所紀要, 第9号, 89 - 101.
- 川名好裕 (2012) 化粧と笑顔による魅力変化 立正大学心理学研究年報, 第3号, 19 - 32.
- Li, N. P., Bailey, J. M., Kenrick, D. T., & Linsenmeier, J. A. W. (2002). The necessities and luxuries of mate preferences: Testing the tradeoffs. *Journal of Personality and Social Psychology*, 82, 947-955.
- Langlois, J. H., Ritter, J. M., Roggman, L. A., & Vaughn, L. S. (1991). Facial diversity and infant preferences for attractive faces. *Developmental Psychology*, 27, 79-84.
- 松井豊・山本真理子 (1985). 異性交際の対象に及ぼす外見的印象と自己評価の影響 社会心理学研究, 1, 9 - 14.
- Powers, E. A. (1971). Thirty years of research on ideal mate characteristics: What do we know? *International Journal of Sociology of the Family*, 1, 207-215.
- Strohmetz, D. B. (2008). Research artifacts and the social psychology of psychological experiments. *Social and Personality Psychology Compass*, 2, 861-877.
- Walster, E. Aronson, V., Abrahams, D., & Rottmann, L. (1966). Importance of physical attractiveness in dating behavior. *Journal of Personality and Social Psychology*, 4, 508-516.

表1. アンケート実験調査用紙

大学名 () 年齢 ()
 授業名 () 性別 男・女

次の質問にお答えて、当てはまるものに をつけて下さい。

- | | | |
|--------------------------|---------|-----------------|
| 問1 あなたの家族の男女比は？ | 男： 人 | 女： 人 |
| 問2 男で好きな顔の系統は？ | 1. 男らしい | 2. 面白い 3. 美男 |
| 問3 女で好きな顔の系統は？ | 1. 美人 | 2. セクシー 3. かわいい |
| 問4 友達は同性と異性どちらが多いですか？ | 1. 異性 | 2. 同性 3. 同じ位 |
| 問5 友達としては同性と異性どちらが好きですか？ | 1. 異性 | 2. 同性 3. 両性とも |
| 問6 恋人としては同性と異性どちらが好きですか？ | 1. 異性 | 2. 同性 3. 両性とも |

写真の人物について、あなたの思うところの数字に をつけて下さい。



	全く当てはまらない	当てはまらない	やや当てはまらない	どちらともいえない	やや当てはまる	当てはまる	非常に当てはまる
問7 かっこいい	1	2	3	4	5	6	7
問8 色っぽい	1	2	3	4	5	6	7
問9 子供らしい	1	2	3	4	5	6	7
問10 元気な	1	2	3	4	5	6	7
問11 美しい	1	2	3	4	5	6	7
問12 エロチック	1	2	3	4	5	6	7
問13 若々しい	1	2	3	4	5	6	7
問14 健康的な	1	2	3	4	5	6	7
問15 上品な	1	2	3	4	5	6	7
問16 妖艶な (あやしい魅力)	1	2	3	4	5	6	7
問17 かわいい	1	2	3	4	5	6	7
問18 顔色がいい	1	2	3	4	5	6	7
問19 綺麗な	1	2	3	4	5	6	7
問20 艶っぽい	1	2	3	4	5	6	7
問21 いじらしい	1	2	3	4	5	6	7
問22 清潔な	1	2	3	4	5	6	7
問23 洗練された	1	2	3	4	5	6	7
問24 官能的な (性的に刺激的な)	1	2	3	4	5	6	7
問25 はつらつとした	1	2	3	4	5	6	7
問26 おしゃれな	1	2	3	4	5	6	7
問27 肉感的な	1	2	3	4	5	6	7
問28 勤勉な	1	2	3	4	5	6	7
問29 親切的な	1	2	3	4	5	6	7
問30 悩みがちな	1	2	3	4	5	6	7
問31 陽気な	1	2	3	4	5	6	7
問32 想像力に富んだ	1	2	3	4	5	6	7
問33 真面目な	1	2	3	4	5	6	7
問34 温和な	1	2	3	4	5	6	7
問35 悲観的な	1	2	3	4	5	6	7
問36 積極的な	1	2	3	4	5	6	7

笑顔および外見による魅力変化

問37	独創的な	1	2	3	4	5	6	7
問38	几帳面な	1	2	3	4	5	6	7
問39	素直な	1	2	3	4	5	6	7
問40	神経質な	1	2	3	4	5	6	7
問41	活動的な	1	2	3	4	5	6	7
問42	進歩的な	1	2	3	4	5	6	7
問43	誠実な	1	2	3	4	5	6	7
問44	良心的な	1	2	3	4	5	6	7
問45	心配性	1	2	3	4	5	6	7
問46	社交的な	1	2	3	4	5	6	7
問47	独立した	1	2	3	4	5	6	7
問48	計画性のある	1	2	3	4	5	6	7
問49	協力的な	1	2	3	4	5	6	7
問50	傷つきやすい	1	2	3	4	5	6	7
問51	明るい	1	2	3	4	5	6	7
問52	好奇心が強い	1	2	3	4	5	6	7
問53	整理好きな	1	2	3	4	5	6	7
問54	親しみのある	1	2	3	4	5	6	7
問55	弱気な	1	2	3	4	5	6	7
問56	話好きな	1	2	3	4	5	6	7
問57	頭の回転が速い	1	2	3	4	5	6	7

この人物をあなたの

問58	友達にしたいと思いますか？	1	2	3	4	5	6	7
問59	恋人にしたいと思いますか？	1	2	3	4	5	6	7
問60	性的相手にしたいと思いますか？	1	2	3	4	5	6	7
問61	結婚相手にしたいと思いますか？	1	2	3	4	5	6	7

表2. 外見の魅力因子分析

美的魅力			健康的魅力		
変数名	因子No. 1	因子負荷量	変数名	因子No. 2	因子負荷量
問11	美しい	0.833	問14	健康的な	0.699
問19	綺麗な	0.831	問10	元気な	0.624
問20	艶っぽい	0.741	問25	はつらつとした	0.571
問15	上品な	0.693	問18	顔色がいい	0.556
問12	エロチック	0.689	問13	若々しい	0.508
問8	色っぽい	0.687	問9	子供らしい	0.408
問17	かわいい	0.682	問17	かわいい	0.265
問23	洗練された	0.668	問22	清潔な	0.194
問26	おしゃれな	0.649	問26	おしゃれな	0.087
問22	清潔な	0.606	問27	肉感的な	0.001
問24	官能的な	0.584	問21	いじらしい	- 0.067
問21	いじらしい	0.564	問23	洗練された	- 0.102
問13	若々しい	0.544	問19	綺麗な	- 0.114
問16	妖艶な	0.515	問11	美しい	- 0.154

表3. 内面的魅力因子分析

对人的魅力			社会的魅力		
変数名	第1因子	因子負荷量	変数名	第2因子	因子負荷量
問44	良心的な	0.764	問40	神経質な	0.597
問49	協力的な	0.738	問28	勤勉な	0.593
問29	親切的な	0.658	問30	悩みがちな	0.565
問39	素直な	0.650	問45	心配性	0.554
問51	明るい	0.641	問35	悲観的な	0.511
問34	温和な	0.625	問38	几帳面な	0.498
問43	誠実な	0.619	問33	真面目な	0.478
問54	親しみのある	0.616	問55	弱気な	0.465
問42	進歩的な	0.609	問48	計画性のある	0.449
問31	陽気な	0.601	問53	整理好きな	0.390
問41	活動的な	0.560	問43	誠実な	0.348
問56	話好きな	0.553	問50	傷つきやすい	0.340
問52	好奇心が強い	0.532	問47	独立した	0.201
問46	社交的な	0.520	問37	独創的な	0.186

表4. 三元配置多変量分散分析表

** : 1%有意 * : 5%有意

因子	目的変数	Type III 平方和	自由度	平均平方	F 値	P 値	判定
性別	美的魅力	3.1171	1	3.1171	9.1423	0.0028	**
	健康的魅力	6.3860	1	6.3860	8.7346	0.0034	**
	对人的魅力	0.1087	1	0.1087	0.1372	0.7114	
	社会的魅力	5.6687	1	5.6687	7.3812	0.0071	**
	友達希望	9.9815	1	9.9815	4.2898	0.0394	*
	恋人希望	124.1969	1	124.1969	73.6180	0.0000	**
笑有無	美的魅力	0.6392	1	0.6392	1.8746	0.1722	
	健康的魅力	27.7938	1	27.7938	38.0153	0.0000	**
	对人的魅力	10.9357	1	10.9357	13.7988	0.0003	**
	社会的魅力	21.4010	1	21.4010	27.8663	0.0000	**
	友達希望	10.9092	1	10.9092	4.6885	0.0314	*
	恋人希望	0.4418	1	0.4418	0.2619	0.6093	
美的判断	美的魅力	124.8016	1	124.8016	366.0373	0.0000	**
	健康的魅力	0.3457	1	0.3457	0.4729	0.4923	
	对人的魅力	29.2568	1	29.2568	36.9166	0.0000	**
	社会的魅力	0.0101	1	0.0101	0.0132	0.9087	
	友達希望	61.6717	1	61.6717	26.5049	0.0000	**
	恋人希望	91.9166	1	91.9166	54.4838	0.0000	**
性別 × 笑有無	美的魅力	0.0001	1	0.0001	0.0002	0.9896	
	健康的魅力	0.7202	1	0.7202	0.9851	0.3220	
	对人的魅力	0.0567	1	0.0567	0.0716	0.7893	
	社会的魅力	0.0831	1	0.0831	0.1082	0.7425	
	友達希望	1.0064	1	1.0064	0.4325	0.5114	
	恋人希望	0.0040	1	0.0040	0.0024	0.9613	
性別 × 美的判断	美的魅力	1.5116	1	1.5116	4.4336	0.0363	*
	健康的魅力	1.2374	1	1.2374	1.6925	0.1945	
	对人的魅力	0.6985	1	0.6985	0.8813	0.3488	
	社会的魅力	0.4262	1	0.4262	0.5549	0.4571	
	友達希望	5.0007	1	5.0007	2.1492	0.1440	
	恋人希望	32.0719	1	32.0719	19.0107	0.0000	**
笑有無 × 美的判断	美的魅力	0.0012	1	0.0012	0.0034	0.9536	
	健康的魅力	1.9454	1	1.9454	2.6608	0.1042	
	对人的魅力	0.9194	1	0.9194	1.1601	0.2825	
	社会的魅力	0.2006	1	0.2006	0.2612	0.6098	
	友達希望	1.0150	1	1.0150	0.4362	0.5096	
	恋人希望	0.2040	1	0.2040	0.1209	0.7284	
性別 × 笑有無 × 美的判断	美的魅力	0.3343	1	0.3343	0.9806	0.3231	
	健康的魅力	0.1064	1	0.1064	0.1456	0.7032	
	对人的魅力	0.1240	1	0.1240	0.1565	0.6928	
	社会的魅力	0.6062	1	0.6062	0.7894	0.3752	
	友達希望	9.5918	1	9.5918	4.1223	0.0434	*
	恋人希望	1.0757	1	1.0757	0.6376	0.4254	

表5. 平均値の差の検定 (男性データ)

1. 「美的判断」の各水準における「笑有無」の多重比較検定 (シェフェ法)

** : 1%有意 * : 5%有意

目的変数	美的判断	笑 有	笑 無	差	P 値	判 定
美的魅力	美的	0.715	0.532	0.183	0.379	
	醜的	- 1.038	- 1.073	0.036	0.835	
健康的魅力	美的	0.235	- 0.131	0.366	0.183	
	醜的	0.699	- 0.134	0.832	0.000	**
对人的魅力	美的	0.574	0.240	0.333	0.273	
	醜的	- 0.190	- 0.688	0.498	0.048	*
社会的魅力	美的	- 0.360	0.139	0.499	0.099	
	醜的	- 0.628	0.203	0.832	0.001	**
友達希望	美的	5.7	4.8	0.9	0.053	傾向
	醜的	4.1	3.8	0.3	0.413	
恋人希望	美的	4.2	4.1	0.1	0.806	
	醜的	1.9	2.2	0.3	0.385	

2. 「笑有無」の各水準における「美的判断」の多重比較検定 (シェフェ法)

** : 1%有意 * : 5%有意

目的変数	笑有無	美 顔	醜 顔	差	P 値	判 定
美的魅力	笑有	0.715	- 1.038	1.753	0.000	**
	笑無	0.532	- 1.073	1.606	0.000	**
健康的魅力	笑有	0.235	0.699	0.463	0.053	
	笑無	- 0.131	- 0.134	0.003	0.992	
对人的魅力	笑有	0.574	- 0.190	0.764	0.004	**
	笑無	0.240	- 0.688	0.928	0.002	**
社会的魅力	笑有	- 0.360	- 0.628	0.268	0.306	
	笑無	0.139	0.203	0.064	0.825	
友達希望	笑有	5.7	4.1	1.6	0.000	**
	笑無	4.8	3.8	1.1	0.013	*
恋人希望	笑有	4.2	1.9	2.3	0.000	**
	笑無	4.1	2.2	1.9	0.000	**

表6. 平均値の差の検定 (女性データ)

1. 「美的判断」の各水準における「笑有無」の多重比較検定 (シェフェ法)

** : 1%有意 * : 5%有意

目的変数	美的判断	笑有平均	笑無平均	差	P 値	判 定
美的魅力	美的	0.709	0.684	0.024	0.814	
	醜的	- 0.555	- 0.745	0.190	0.220	
健康的魅力	美的	0.203	- 0.482	0.684	0.000	**
	醜的	0.276	- 0.697	0.974	0.000	**
对人的魅力	美的	0.400	0.098	0.303	0.070	傾向
	醜的	- 0.041	- 0.699	0.658	0.009	**
社会的魅力	美的	- 0.193	0.440	0.632	0.000	**
	醜的	- 0.073	0.470	0.543	0.026	*
友達希望	美的	4.4	4.7	0.2	0.452	
	醜的	4.2	3.4	0.9	0.076	傾向
恋人希望	美的	1.8	2.0	0.2	0.530	
	醜的	1.3	1.4	0.0	0.995	

2. 「笑有無」の各水準における「美的判断」の多重比較検定 (シェフェ法)

** : 1%有意 * : 5%有意

目的変数	笑有無	美顔平均	醜顔平均	差	P 値	判 定
美的魅力	笑有	0.709	- 0.555	1.264	0.000	**
	笑無	0.684	- 0.745	1.429	0.000	**
健康的魅力	笑有	0.203	0.276	0.074	0.729	
	笑無	- 0.482	- 0.697	0.216	0.326	
对人的魅力	笑有	0.400	- 0.041	0.442	0.035	*
	笑無	0.098	- 0.699	0.797	0.000	**
社会的魅力	笑有	- 0.193	- 0.073	0.120	0.556	
	笑無	0.440	0.470	0.030	0.886	
友達希望	笑有	4.4	4.2	0.2	0.615	
	笑無	4.7	3.4	1.3	0.002	**
恋人希望	笑有	1.8	1.3	0.5	0.160	
	笑無	2.0	1.4	0.6	0.066	傾向

表7. 平均値の差の検定 (男女比較)

1. 性別の単純主効果

因子	従属変数	男	女	P 値	判定
性別	美的魅力	- 0.3691	0.2815	0.0000	**
	健康的魅力	0.2173	- 0.1657	0.0006	**
	対人的魅力	- 0.0761	0.0581	0.2436	
	社会的魅力	- 0.2026	0.1545	0.0018	**
	友達希望	4.5	4.3	0.3972	
	恋人希望	2.9	1.7	0.0000	**

2. 美的魅力の性別 × 美的判断の交互作用効果

従属変数	美醜判断	男	女	P 値	判定
美的魅力	美顔	0.6982	0.7634	0.6908	
美的魅力	醜顔	- 0.7339	- 0.2833	0.0003	**

3. 従属変数：関係希望の性別 × 美的判断の交互作用効果

従属変数	美醜判断	男	女	P 値	判定
友達希望	美顔	5.2	4.5	0.0385	*
友達希望	醜顔	4.2	4.1	0.6190	
恋人希望	美顔	4.4	1.8	0.0000	**
恋人希望	醜顔	2.4	1.6	0.0003	**

4. 従属変数：関係希望の美的判断 × 笑有無 × 性別の交互作用効果

従属変数	性別	美的判断	笑有	笑無	P 値	判定
友達希望	男性	美的	5.7	4.8	0.053	傾向
友達希望	男性	醜的	4.1	3.8	0.413	
恋人希望	男性	美的	4.2	4.1	0.806	
恋人希望	男性	醜的	1.9	2.2	0.385	
友達希望	女性	美的	4.4	4.7	0.452	
友達希望	女性	醜的	4.2	3.4	0.076	傾向
恋人希望	女性	美的	1.8	2.0	0.530	
恋人希望	女性	醜的	1.3	1.4	0.995	

表8. 男性が女性に求めるタイプ (クラスター分析)

魅力の因子得点と関係希望の評点の平均

クラスターNo.	タイプ	人数	美的魅力	健康的魅力	対人的魅力	社会的魅力	友達希望	恋人希望
クラスター1	女友達、恋人にしたいタイプ	14	1.0	0.2	0.3	0.0	6.0	5.8
クラスター2	友達希望タイプ (1)	39	0.1	0.1	0.1	- 0.3	4.9	3.9
クラスター3	友達希望タイプ (2)	26	- 0.6	1.0	0.3	- 0.9	4.8	1.7
クラスター4	友達にたくないタイプ	18	- 1.1	- 0.1	- 0.2	0.8	3.5	1.4
クラスター5	友達にも恋人にもたくないタイプ	9	- 2.3	- 0.9	- 2.3	- 0.2	1.3	1.0
合計		106						

表9. 女性の女友達のタイプ (クラスター分析)

魅力の因子得点と関係希望の評点の平均

クラスターNo.	タイプ	人数	美的 魅力	健康的 魅力	対人的 魅力	社会的 魅力	友達 希望	恋人 希望
クラスター1	友達・恋人希望タイプ	26	0.5	- 0.4	0.0	0.1	4.8	4.0
クラスター2	友達希望タイプ	70	0.4	0.1	0.4	0.3	5.3	1.2
クラスター3	友達に望まないタイプ (1)	37	0.2	- 0.4	- 0.2	- 0.1	2.4	1.2
クラスター4	友達に望まないタイプ (2)	6	- 1.4	- 1.1	- 1.8	1.0	3.3	1.0
合計		139						